

岡山県地質調査業協会

## 令和 7 年度 技術講演会 (ライブ配信あり)

# 地盤工学から見た陥没現象と今後の計測技術を考える

## 開催要領

主催：岡山県地質調査業協会

後援：岡山県、一般社団法人中国地質調査業協会、一般社団法人日本応用地質学会中国四国支部、  
公益社団法人地盤工学会中国支部、公益社団法人地盤工学会中国支部岡山地域セミナー、  
一般社団法人建設コンサルタンツ協会中国支部、一般社団法人アンカー健全度協会中国支部、  
一般社団法人岡山県測量設計業協会、非営利公益法人統合物性モデル技術研究組合、  
山陽新聞社、RSK 山陽放送、RNC 西日本放送、OHK 岡山放送、TSC テレビせとうち

開催日：2025/11/6(木)13:30~16:50

開催形式：集合+配信(ライブ配信あり)

定員：480 名 (会場 80 名:Web400 名)

開催場所：岡山県 岡山市北区奉還町2丁目2番1号

開催会場名：岡山国際交流センター、2F 国際会議場

プログラム目標：現在、日本では道路陥没事故が多発しているが、今後も施設老朽化や地球温暖化による豪雨頻発なども起因して、多発する可能性が考えられる。今回、地盤工学の専門家により、地盤工学から見た陥没現象と、今後の計測技術を考察する。

「道路構造及び空洞特性を考慮した陥没危険度評価と合理的路面下空洞対策」で地盤工学会論文賞を受賞された東京大学生産技術研究所の桑野玲子教授を迎え、地盤工学の観点から陥没現象のメカニズムを、空洞化実験などを用いてわかりやすく解説いただく。

また、土木研究所や国総研で、粘り強い河川堤防の研究などをされてきた山口大学の森啓年准教授を迎え、堤防被災や道路陥没についてのメカニズムや観測・計測技術について解説いただく。

教育分野：B7：土質、基礎、地質、岩盤分野

形態内容：講習会

開催実時間 13:30~13:40 会長あいさつ

13:40~15:10 壊れ方が分かれば、計り方が見えてくる

ー堤防被災・道路陥没のメカニズムに基づく観測・計測技術の開発ー(森啓年) 90 分

15:20~16:50 都市の成熟に伴う道路陥没現象 (桑野玲子) 90 分

合計実時間：3 時間(180 分)

参加実時間：3.00

CPD単位：3.00

参加対象者：全て(地質技術者、技術者全般、一般市民)

料金：無料

申込：下記 URL より申し込みください。申し込み期間 10 月 29 日までです。確認返信とウェビナー(teams 会議室)の配信は、定期的に 1 週間~10 日程度に行いますので、ご了解いただければ幸いです。なお、岡山県地質調査業協会 HP から可能です。講演後に、意見交換会(有料 5000 円予定)がありますので、あわせて下記 URL より申し込みください。

<https://forms.office.com/r/wCYTew4xXu>



開催方式： 会場 80 名上限

Web ライブ配信(申し込みのメールに、teams のウェビナーURL を送る。(400 名先着)

配布および質疑： 口頭質疑は会場のみとなります。希望者は会場で、是非ご出席ください。Web 参加ではチャットのみとなりますので、ご了解ください。また、HP で後日、資料を公開予定です。

参加確認： 会場参加者は会場入り口で、リスト照合を行い確認します。Web 参加者は、キーワードを 2 つ、講演会の最初と中間、最後にスクリーン上に流しますので、下記 URL で講習会後の 11 月 6 日～11 月 13 日にキーワードを記入し、申請ください。確認した Web 参加者と会場参加者に岡山県地質調査業協会の CPD 受講証明書をメールで送付させていただきます。受講証明書送付は 11 月 18 日～26 日ですので、11 月 26 日以後でまだ届かない方は、パンフ連絡先、木村までご連絡ください。



Web CPD 受講証明書用 URL

<https://forms.office.com/r/1N4Jvke0LY>

連絡先： 岡山県地質調査業協会 技術委員長 086-252-8941 つづけて 7100 木村隆行  
(エイト日本技術開発 内)

メールアドレス [kimura-ta@ej-hds.co.jp](mailto:kimura-ta@ej-hds.co.jp)